

小田原市 校務 DX 計画

現在、小田原市教育ネットワークは、児童生徒管理や成績処理等を中心とした「校務ネットワークシステム」と児童生徒の学習支援を行う「学習ネットワークシステム」がそれぞれ個別に稼働している。

このため、教職員が校務用パソコンと学習用パソコンの2台を使用していること、それぞれのネットワークシステム間でのデータの共有ができない事などから、業務改善の阻害要素となっている。

そこで、令和10年10月に契約満了を迎える校務ネットワークシステムは、学習ネットワークシステムと連携・統合を行い、新たに教育ネットワークシステムとして更新することを計画している。そのため、令和8年度に更新予定の学習ネットワークシステムについては、令和10年度まで現状のシステムを継続使用することとしている。

新しい教育ネットワークシステムはクラウドサービスを活用して、校務と学習両方を1台のパソコンで処理できるようにするとともに、校務支援システムや付随するグループウェア等を活用して、意思決定や情報共有の円滑な執行による業務効率向上を目指す。また、紙による手作業を無くすために、必要なサービスを導入してDXの推進により業務改善を目指すこととしている。

教育ネットワークシステム 更新スケジュール

